

令和5年度の 多文化共生関連事業について

令和5年3月5日（日）@多文化共生推進ネットワークミーティング

福井県産業労働部国際経済課

主査 堂坂 梨乃



今年度の多文化共生推進ネットワークの取組と課題

【R4の取組】

- ・ ネットワークミーティングの開催
- ・ Facebookを通じた情報発信



○課題

- ネットワーク加盟者同士が顔を合わせる機会が少ない
⇒ **交流・情報交換の場の欠如**
- Facebookでの双方向のコミュニケーションがない
⇒ **プラットフォーム機能の不足**

来年度の方向性

①ネットワークミーティングに加え、年3回程度のオンラインミーティングを実施

○取組のポイント

- 活動地域や分野を超えて、定期的にネットワークメンバーが顔を合わせる場づくり
- ネットワークメンバーによる活動紹介や、お互いのイベント等の告知、お悩み相談を行い、交流・情報交換を活性化
- ミーティングで得た意見などを施策に反映

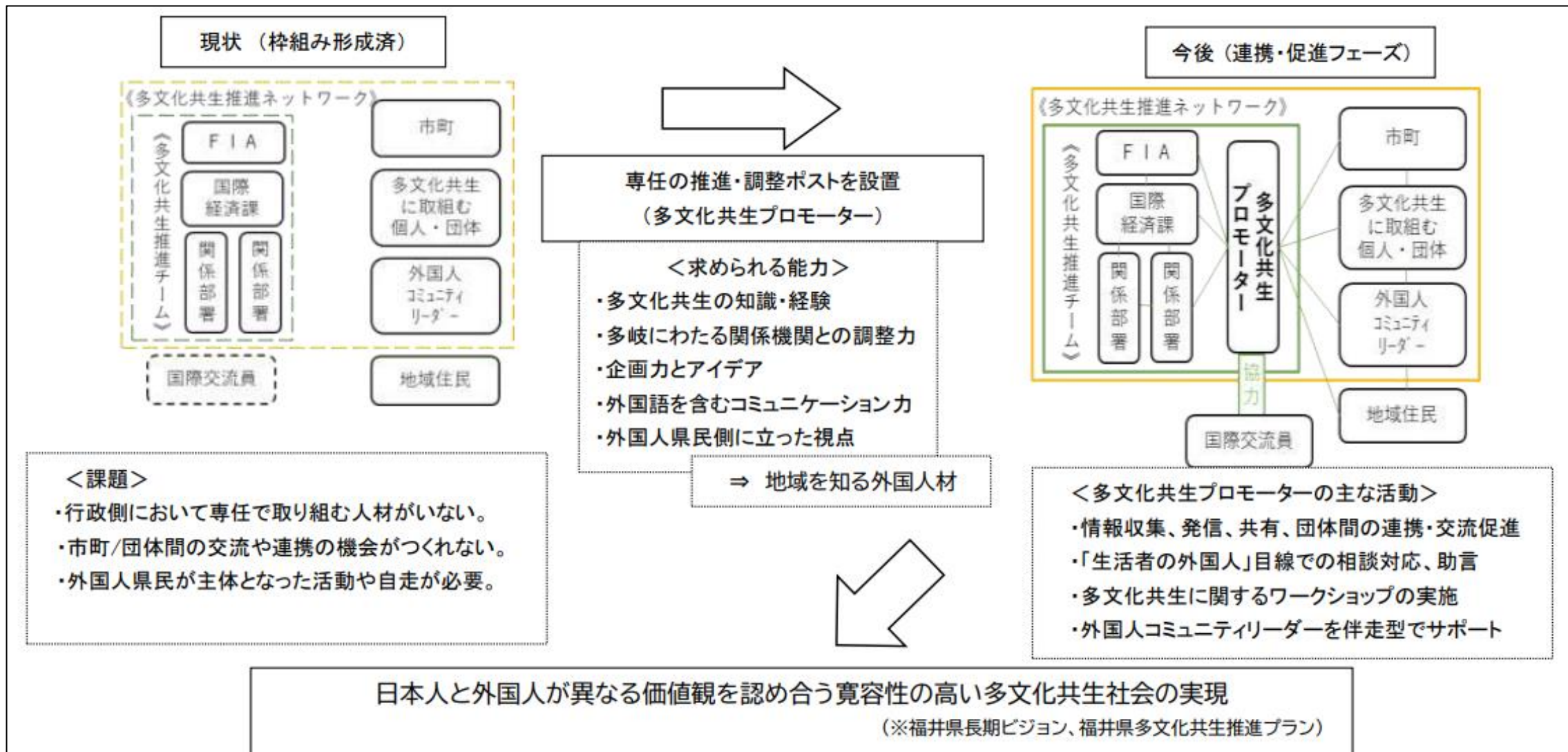
来年度の方向性

②地域の国際化を推進する「多文化共生プロモーター」の起用

○取組のポイント

- 多文化共生に取り組む人・団体や地域のキーパーソン等の「繋ぎ手」となる外国人地域おこし協力隊を採用
- 外国人目線での情報発信や取組への助言、多文化共生に関するワークショップの開催など、地域の国際化を後押し

多文化共生プロモーターのイメージ



その他の事業

○ふくい多文化共生推進応援金

1 応募資格

- (1) 県内に活動の拠点を有する構成員2名以上の団体（グループや運営委員会等を含む）であること
※法人格の有無は問わない。
- (2) 「ふくい多文化共生ネットワーク」に登録していること など

2 対象となる事業

- (1) 応募資格を満たす団体にとって福井県多文化共生推進プランの実行に資する新たな活動であること
- (2) 継続活動の場合は従来の活動と比較し、新たに開始した活動であることが明確に区分できる内容であること など

3 支援金額

1年度あたり最大30万円（最長3年度分を継続支援予定）

※次年度以降の支援については予算の成立が前提となっているため、変更が生じる可能性あり

ご清聴ありがとうございました

各事業については、詳細が決まりましたら、あらためてお知らせさせていただきます